

肥満症専門外来 自由診療 治療説明・同意書

ウゴービ/ゼップバウンド

氏名		記入日	年 月 日
生年月日	年 月 日	診療券番号	

治療の基本方針

当院では、まず保険診療による肥満症の評価・合併症治療を推奨します。当院が肥満症治療薬を保険診療で使用する施設基準を満たしていないこと、自由診療では費用が全額自己負担となることを理解したうえで、医学的に適応がある場合に治療を開始します。

1. 治療の目的・限界

- ☐ 治療目的は、単なる美容上の減量ではなく、肥満に関連する健康障害と将来のリスクを改善することです。
- ☐ 食事、運動、睡眠、行動の見直しを治療の土台とし、薬剤のみで治療が完結するものではありません。
- ☐ 減量効果には個人差があり、目標体重への到達や治療終了後の体重維持を保証するものではありません。

2. 使用する薬剤の選択

- ☐ ウゴービ（一般名：セマグルチド）は GLP-1 受容体作動薬です。
- ☐ ゼップバウンド（一般名：チルゼパチド）は GIP/GLP-1 受容体作動薬です。
- ☐ 費用、必要な治療、併存疾患、過去の治療歴、副作用、注射器の使いやすさを考慮し、医師と相談して選択します。
- ☐ 両剤を同時に使用しません。他の GLP-1 受容体作動薬やチルゼパチド製剤も自己判断で併用しません。

3. 主な副作用と重大なリスク

- ☐ 吐き気、嘔吐、食欲低下、腹部膨満、下痢、便秘、腹痛などの胃腸症状が起こることがあります。
- ☐ 脱水と急性腎障害、低血糖（糖尿病薬併用時）、胆石・胆嚢炎・胆管炎、急性膵炎などが起こることがあります。
- ☐ 嘔吐を伴う持続的な激しい腹痛、水分が取れない状態、黄疸、意識障害などがある場合は投与を中止し、直ちに医療機関へ連絡・受診します。

4. 治療を行わない、または慎重に判断する場合

- ☐ 妊娠中・授乳中、近く妊娠を希望する場合は治療を行いません。妊娠が判明した場合は直ちに使用を中止し、医師へ連絡します。
- ☐ 膵炎の既往、重い胃腸障害、胆道疾患、重い肝・腎機能障害、摂食障害などでは治療できない、または慎重な判断が必要です。
- ☐ 持病、現在使用中の薬、健康食品・サプリメント、妊娠希望を正確に申告します。

5. 自己注射・通院

- ☐ 医師または看護師から注射方法、保管方法、投与忘れ時の対応、廃棄方法の指導を受け、指示された用量・曜日を守ります。
- ☐ 薬剤を他人へ譲渡・共有せず、処方された本人のみが使用します。
- ☐ 原則として月 1 回の診察・身体測定を受け、必要に応じて採血その他の検査を受けます。

6. 費用・中止・返金

- ☐ 自由診療の診察料、導入初期費用、薬剤費等は全額自己負担で、公的医療保険・高額療養費制度の対象外です。
- ☐ 用量変更、薬価・仕入価格の変更等により費用が変わる場合があります。開始前に料金表の説明を受けます。
- ☐ 治療はいつでも相談のうえ中止できます。処方・交付後の薬剤は、品質管理と安全性のため原則として返品・返金できません。

7. 個人情報・質問する権利

- ☐ 診療情報は個人情報保護法および院内規程に基づいて管理されます。
- ☐ 治療に関する疑問を質問でき、納得できない場合は治療を開始しない、または他院で意見を聞くことができます。
- ☐ 研究目的で診療情報を利用する場合は、本同意書とは別に必要な倫理手続と説明を行います。

最終確認

上記の説明を文書および口頭で受け、治療の目的、選択肢、期待される効果、限界、副作用、費用を理解しました。自らの意思で、以下の治療を希望します。

☐ ウゴービ	☐ ゼップバウンド	☐ 診察時に相談して決定
患者署名		
説明医師	飯島 康弘	
説明日	年 月 日	